

【将来構想の構成イメージ】

1 目的と期間

1 目的 著しく変わり続ける社会経済情勢のなかにあって、新たな時代に対応しながら、市民と行政とが共有すべき未来の蕨市のまちづくりを総合的・計画的に進めるため、蕨市が目指すまちのビジョンや目標などを示す。

2 期間 令和6年度～令和15年度までの10年間

2 目指すまちのビジョン

今後10年間で蕨市が目指すべき「将来のまちのビジョン」。

3 まちづくりの基本フレーム

今後10年間におけるまちづくりの「基本的な枠組み」となる、蕨市の人口と都市形成の考え方。

4 分野別の目指す姿

行政分野ごとのまちづくりの目指す姿。

5 まちづくりの重点方向

今後10年間におけるまちづくりの重点方向。

【新たな将来構想の記載に当たって】

「4」「5」において考慮すべき課題やテーマ

～今後10年の計画を定めるにおいて、前計画の内容にとどまらずに考慮すべき要素、また引き続き重要な要素

【例】

引き続き重要な視点

- ・協働のまちづくり
- ・安全安心なまちづくり
- ・未来を創る子どもたち
- ・まちの活力 など

安全安心の分野

- ・新型コロナウイルス感染症
- ・風水害
- ・消費者被害 など

【市の状況（例）】

- ・自主防災組織率、自主防犯活動団体数が高い
- ・人口あたり交通事故件数が少ない
- ・消防・救急体制の市民満足度が高い〔市民意識調査〕
- ・公共施設等の耐震化が進んでいる

子育て・教育の分野

- ・こどもまんなか社会の実現
- ・教育環境の充実 など

【市の状況（例）】

- ・保育園・留守家庭児童指導室の整備（待機児童の削減）
- ・こども医療費などの支援制度が充実
- ・通園・通学に便利
- ・市域面積あたりの公園数が多い（公園へのアクセスがよい）
- ・GIGAスクール構想の推進

健康、福祉の分野

- ・ 高齢化社会
- ・ スマートウェルネス社会の実現
- ・ 包括的な保健医療体制の整備 など

【市の状況（例）】

- ・ 公民館やコミュニティ委員会の活動などが盛ん
- ・ 外国人住民が多い
- ・ 交通の利便性が高い

環境・まちづくり・にぎわいの分野

- ・ 地球温暖化問題・気候変動問題
- ・ 蕨駅西口再開発の完了 など

【市の状況（例）】

- ・ 豊かな地域資源、歴史・文化資源
- ・ 世界や日本で活躍する蕨ゆかりの多くの方々
- ・ 蕨市の強みは「都市基盤整備」が第1位〔市民意識調査〕
- ・ 買い物や通勤、通学など生活に便利〔市民意識調査〕
- ・ 生産年齢人口比率が高い